石神台 防災かわら版

石神台自治会防災部
自主防災委員会
広報班
第５４号
平成３０年１１月

心肺蘇生とＡＥＤ使用訓練

― 第16回自主防災キャンペーン行動 ―

10月14日(日)、21名が参加して自主防災キャンペーン行動『心肺蘇生とＡＥＤの使用訓練』が石神台会館で行われました。 訓練には大磯町災害救援赤十字奉仕団の委員長、団員、指導員の６名が駆けつけてくれました。

最初にDVD上映で基礎知識を得、直ちに３グループに分れて全員が交代で実技を繰り返して習得し合いました。

事故や災害などで倒れた人が発見された時、応急手当てをすれば命を救えるかも知れません。勇気をもって行動する、それが訓練の目的です。「心肺蘇生」は30回の心臓マッサージと２回の人工呼吸を繰り返して心肺機能の回復を処置することです。また、ＡＥＤは電気ショックで心臓を正常にもどす機能をもった機器です。

訓練は、①倒れている人を発見　②大きな声で人を呼ぶ　③119番通報とAED持参を指示　④心臓マッサージを実施　⑤AEDの音声指示に従って機器の操作　⑥救急車を待つ…と云う手順でした。

参加者は３グループに分かれて、全員が指導員の助言を受けながら第１発見者の動作を実演し合いました。ポイントは『しっかりと声を掛け合うこと』『臆せずに動作を行うこと』それが救命リレーとなることを学びました。実技後の質疑では、「子供の心臓マッサージ方法は？」「責任は？」「119番通報どこの消防署？」など具体的な質問が活発に出されました。

指導員からは「命を救えるかも知れない…。動作を繰り返し身体で覚えて行きましょう」と激励がありました。

年末年始の『火の用心！』

火事の多いのが年末年始です。台所近くなど消火器を備えましょう。

安否確認！
9/30 大磯町総合防災訓練がありました。

9月30日（日）に町内一斉の防災訓練が行われました。大地震被災後の地域住民の安否を街区役員が安否旗で確認するものです。この訓練内容は数年繰り返し行われています。今年は街区役員による旗の確認や各公園の担当者への報告、担当者から本部公民館へのトランシーバーによる報告、集計はおおむね順調に行われました。

石神台の安否旗の掲示の結果は表の通りです。昨年に比べ旗の掲示忘れ（声かけで応答あり）が3倍以上に増えています。趣旨がよく理解されていないとの見方があります。黄旗の目的は、当地区がおおむね震度５強以上の大地震の際に、その家にいる人が皆無事な場合に近隣に知らせることです。実際の地震の際には、黄旗を出すことが出来た人で可能な人は旗の出ていない家に住む人の救助のお手伝いをお願します。

町総合防災訓練 安否確認 石神台　　数字は世帯数

	対象世帯数	黄旗掲示	声かけで応答あり	声かけで応答なし	事前不在確認済み
本(H30)年度	702	421	191	67	31
昨(H29)年度	697	558	59	53	60

にこにこマークは無事の印

みんなで出そう黄色い旗

毎月の第１土曜日 午前中

12月は 1日
1月は 5日
です。

「いざ」という時にあわてない訓練をしよう！